

～海鳴い遙かに～

上高だより

令和 2年2月28日 金曜日
第11号



長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTO HIGH SCHOOL



情熱をもって自己練磨に励もう

校長 原 昌紀

今年度も残すところ1ヶ月となりました。4月当初に、今年度のスローガンとして「自己練磨」を掲げました。生徒の限りない能力を上高で存分に伸ばして欲しいという思いから掲げたものです。皆さんはこの1年、自己練磨に励んでくれたでしょうか。

私は、情熱という言葉が好きです。人間にとって大事な能力はたくさんあるが、情熱こそ一番の能力であり、いつの時代も情熱を持っている人が世の中を動かしていると思うからです。情熱に年齢は関係ありません。私自身、年をとっても情熱は大事にしなければならぬと思っています。けれども、若いときの情熱は格別であり、十代から二十代に何か夢中になれた人は、一生情熱を持ち続けることができると思うのです。情熱の対象と出逢うきっかけは様々で、小さい頃は特に、自分で見つけるというのは稀です。親に勧められたり、仲間と一緒にやったりしているうちに好奇心が湧いてきて、もっとやってみたい、もっと知りたいと周囲の手を借りずに自ら打ち込むようになる、そして情熱の根源が揺り動かされていくのです。

最近、テレビで「消えた天才」という番組がありました。超一流のアスリートに、若い時は勝っていたけれども、いまは全く違う道を歩んでいる。そういう人たちに密着した内容でした。なぜ彼らは高い才能を持っていたながら、その後超一流アスリートにならなかったのか、あるいはなれなかったのか。タイミングや運が悪かったとか怪我をしてしまったとか、様々な要因はあるでしょうが、番組を見ていて、結局はそのものに対する情熱の差が人生の分かれ目になっているように思います。何の世界であれ、社会に出れば、結果や実績を問われます。その道のプロになるためには、他の人が経験したことがないくらい努力して、苦しみも人一倍味わい、その中から突破口を見出し、乗り越えた先に本当の楽しみがあるのだと思います。大リーグで活躍したイチロー選手が3月の引退会見で、次のような言葉で締めくくりました。

「辛いこと、しんどいことから逃げたいというというのは当然のことなんですけど、でもエネルギーのある元気のある時にそれに立ち向かっていく。そのことはすごく人として重要なことではないかと感じています」

情熱溢れる高校時代に夢や目標に向かって注がれる情熱や失敗や困難に立ち向かっていくエネルギーは、その年齢でなければ注ぐことができないものです。「進取」を校訓とする上五島高校。その中で皆さんは、志を育み、情熱をもって自己練磨に励んでくれることを期待します。

3年生の皆さんへ。3月1日の卒業式では、一人一人が主役です。皆さんの凛とした姿を、来賓や保護者の方々に見ていただき、静寂の中にも、大きな感動を味わっていただけるようにしましょう。人生においては、節目での立居振舞が大変重要になります。

3年生の保護者の皆様へ。お子様のご卒業誠におめでとうございます。卒業という節目を迎えたお子様の姿に感激もひとしおと拝察いたします。平成29年4月から3年間、本校の教育方針、教育活動に深いご理解をいただき、ご協力、ご支援くださいましたことに厚くお礼申し上げます。今後とも、お子様の成長及び本校発展のため、お力添えをお願いいたします。

■ 1学年より

2月に入ってから、ロップチは初めてのマラソン大会に挑みました。体育の授業や部活動で精神的、肉体的に鍛えられていることもあり、ほとんどの生徒が完走できましたが、ゴール地点で応援していると、クラスや学年を超えた声援が飛び交っていて、生徒たちの心根の優しさを感じることができた大会でした。ロップチ2月の目標は「逃がさない」です。無為に過ごして2月を逃してしまわないように、学年末考査に向けて学習に集中していきます。

■ 2学年より

2月は旧暦で如月（きさらぎ）です。様々な由来がありますが、その中の一つに草木が生え始める月で「生更木」という説があります。2月の末から寒さが和らぎ、徐々に草木の芽が張り出す頃です。皆さんの芽は、伸び始めましたか。ただじっと待っているだけでは、小さなものしか芽吹きません。知識や体力という養分を身に付け、来年の3月に大きな実を結ぶよう今から準備をすることが大切です。今年度も残すところ1ヶ月になりました。一人ひとりにできることは、まだ沢山あります。限られた時間の中で努力を怠らず、自分に必要な力を蓄えていきましょう。

■ 3学年より

いよいよ明後日、卒業式を迎えます。上五島高校での3年間、苦楽を共にした仲間と別れ、新たなスタートを切る日。それが卒業式だと思います。この3年間はどんな日々でしたか。部活動や勉強、その他の学校生活の中で一番思い出に残っていることは何でしょうか。そして、3年間で何を学び、どのように成長できましたか。これから社会に出ていく皆さんは、これまでに学んだことでまずは勝負をすることになります。それぞれの会社の即戦力として期待されていますから、その期待に応えることができるよう自ら気づき、考え、行動しましょう。進学する皆さんも、数年後は社会に出ることになります。その時に必要な知識や技能を進学先でしっかりと学び、自分をさらに磨いてください。66回生110名の中から、一人でも多くの方が、日本、あるいは世界で活躍できることを祈っています。

『やるときはやる』66回生が学年の先生方は大好きでしたよ！

校内マラソン大会 2月4日(火)、今年度は自然災害による車両通行止めのため、男子のコースを変更しての実施となりました。

男子11.3km 女子6.8kmのコースに挑戦し、力走しました。校長先生の講話では、「歯を食いしばって走る姿に、元気、勇気をもらった。上五島高校のマラソン大会は沿道での応援がたくさんあり、上五島病院、上五島警察署、母の会など地域と一体になった行事です。このような幸せな環境で走ることは大変良い思い出になると思います。頑張ったことの積み重ねが自身を成長させ、様々なことの見え方が変わることを期待します」と話されました。

走り終わった後の母の会からの豚汁はとても美味しく、マラソンの疲れが癒されました。

沿道からの地域の暖かな声援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



< 競技結果 >

団体の部			
男子 優勝	2年1組	女子 優勝	2年1組
2位	1年2組	2位	1年3組
3位	2年2組	3位	1年2組

個人の部			
男子 優勝	中村	流星くん	(2年2組)
2位	中山	聡吾くん	(2年2組)
3位	津田	晴明くん	(1年2組)

女子 優勝	山下	愛海さん	(2年2組)
2位	宇戸	希実さん	(2年1組)
3位	山田	彩乃さん	(1年3組)

第3学年内定者セミナー 2月14日(金)、内定者セミナーを実施しました。一般社団法人 日本青少年育成協会 長崎県総合就業センター フレッシュワーク長崎より中村博美様にお越しいただき、「働くということ」「社会人としての礼儀・マナー」「仕事を続けるために」など働くことに意義を見出し、安易な離職をしないためのお話をしていただきました。挨拶などの練習や、仕事をお願いされた時の受け答えや対応などを実践指導して頂きました。信頼され、求められる社会人になりたいという今の気持ちを大切に、社会へ羽ばたいていってくれることを期待します。



第66回卒業証書授与式
3月1日(日)

9:10 保護者入場開始 9:40 保護者入場完了
9:52 卒業生入場開始

※駐車場はカミティバリュウ様2階駐車場も利用できます。

■明洋会(同窓会)より「上五島高校応援募金」のお願い

○来校される場合は事務室に設置している【上高応援募金箱】へ。
○金融機関から振り込んでいただく場合は下記口座へ。

銀行名：十八銀行 上五島支店
口座番号：1038305
口座名義：長崎県立上五島高等学校同窓会

←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。
ホームページを随時更新中です!!
<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>

■3月の行事予定

1日(日) 卒業式	14日(土) ①スタディーサポート ②土曜学習会
2日(月) 振替休日(1日分)	18日(水) 高校入学者選抜合格発表
7日(土) ①②土曜学習会	20日(金) 春分の日
10日(水) 高校入学者選抜(~11日) 生徒家庭学習(~12日)	23日(月) 球技大会
	24日(火) 終業式 離任式